

【戦評シート】男子決勝

平成29年 11月26日(日)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場 所：CNAアリーナ★あきた	記入者：藤倉 修 根市 総	
チームA 十文字 60	20-18 8-13 15-18 17-14	63 チームB 山王

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #8
	チームB： #4, #5, #8, #9, #10
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

男子決勝は初優勝を狙う十文字と連覇を狙う山王という顔合わせとなった。

第1Q、先制したのは十文字、#4丹尾が力強いリバウンドからゴール下で得点する。その後、十文字は、#4丹尾のポストプレーやリバウンドシュートなどで得点を重ねていく。一方の山王は、早い展開の攻撃から、スクリーンプレーを効果的に使い、#4藤井のドライブや#5工藤、#9相原のアウトサイドシュートにつなげていく。両者一進一退の展開となった第1Qは、20-18と十文字がリードして終えた。

第2Qに入っても、山王は早い展開から速攻に持ち込み、ドライブやアウトサイドシュートを中心とした攻撃を展開する。一方の十文字は、#4丹尾のインサイドプレーを軸にして、#5高橋の個人技で得点するものの、アウトサイドシュートがなかなか決まらず思うように得点を伸ばすことができない。両チームともに主導権を握るまでにはいたらず時間が経過していく。前半終了間際に山王#4藤井が3Pシュートを決め、31-28と山王3点リードで前半を終えた。

第3Q、山王のディフェンスはインサイドを固めて、十文字の攻撃を防ぎ、徐々にリズムをつかむと、#4藤井の連続3P、#5のドライブからのバスケットカウント、#6のゴール下、#10のジャンプショットなどで、着実に得点していく。十文字は、#4丹尾や#5高橋の個人技で応戦するが、山王の固いディフェンスの前に苦しい展開が続く。結局、山王がリードを6点に広げ、49-43で第3Q終了。

第4Q、最初の得点こそ山王に許すものの、十文字が4連続得点で1点差に追い上げる。その後は、互いに得点し合う展開となり、1点差の攻防が繰り返される。残り1分37秒、山王#4藤井が3Pを決め、60-56としたところで、十文字は後半1回目のタイムアウトをとる。タイムアウト明けの十文字オフェンス、#5高橋が粘り強くジャンプショットを決める。しかし、残り1分を切ったところで、山王は#5工藤が3Pを決め、リードを5点に広げる。十文字は#4が1対1で得点を返すものの、逆転には至らず63-60の3点リードで試合終了。

山王が、2年連続4回目の優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。